

## 仏の100万ユーロ無償技術援助でメコン地域電力取引に弾み

アジア開発銀行（ADB）は、フランス開発庁（AFD）から提供された100万ユーロの無償技術援助を活用し、大メコン河流域圏（GMS）における電力取引の競争的かつ効率的な市場の開発を行なう。

ADBのエネルギー担当スペシャリストのティアンフア・ルオは、「GMSにおける電力取引は、この地域の水力などエネルギー資源を有効活用する良い機会をもたらす。また、電力取引は、この地域の投資や経済協力を刺激することになる」と述べている。

本技術援助は、地域の電力取引の開発に対する組織的かつ統合されたアクションプランを進めると同時に、初期の段階で地域の電力取引に沿った課題に取り組むための制度を育て、GMS地域の国々の能力を高める。

本技術援助の全コストは130万ドル。ADBが管理するAFDからの無償援助は、このうちの120万ドルをカバーし、またGMS諸国は、さまざまな施設や情報、レポートなどの提供を通じて残額を負担する。本技術援助は、約2年かけて2007年12月に終了する見通し。